

◎本校のビジョン(目指す子どもたちの姿)

「豊かな人間性とたくましい実践力を身につけた子ども」

◎本校職員のミッション(ビジョン達成のための使命・道筋)

「一人一人が『自分らしく』『一生懸命』勉強し、
『力をつける』三階小学校を創る」

今年9月から10月にかけて日本を強力な台風が通過し、特に台風19号は、「史上最強」と称され、15号と併せて各地に甚大な被害を及ぼしました。私事ですが、東京で暮らしている娘が、自宅近くを流れる多摩川の氾濫を心配して避難しようとしたのですが、避難所2箇所が満杯で受け入れてもらえず、職場の同僚の家に泊めてもらったそうです。現在本校の5年生が総合的な学習の時間で災害に関する学習をしておりますが、いざというときの対応について、改めて考えさせられました。

地域の皆さんや保護者の皆さん、また縁故のある皆さんには、影響がなかったでしょうか？被害に遭われた皆さんには、この場をお借りして、お見舞い申し上げます。

児童の変容を見取り、力を伸ばす

校長 松本 潔

三階小学校の教育活動は、**子どもたち一人一人が「自分らしく」「一生懸命」に「勉強」して、「力をつける」**ことを目指しています。

力をつけたかどうかを推し量るためには、客観的なテストの数値や、子どもの書いた感想等から、**変容を見取る**ことが必要です。

以下に、変容を見取ることができる子どもの感想をいくつか紹介します。ご覧下さい。

※ ※ ※ ※

【栄養教諭による給食指導を受けて、**自らの食生活を見直そうと変容**した中学年児童】

僕は**しいたけが苦手**だけど、野菜を作る人ががんばって作っておられるので、**がんばってしいたけを食べよう**と思いました。

【地域医療の学習を通して、**現在の自分の生活を見直す変容**を見せた高学年児童】

(中略)僕が特に分かったことは、スマートフォンやパソコンなどの**ブルーライト**などで寝にくくなるということです。だから、医療について教えていただいた日から、**寝る前にスマートフォンを使うのを止め**ました。

【郵便局や神楽の見学の学習を通して、**将来の自分の夢**を持ったり、**夢への思いを強く**したりした低学年児童】

○(郵便局では手紙を1日に)14,000枚も届けるとはじめて聞きました。いろいろな絵の切手があるということもはじめて知りました。僕も**郵便局で働く人になりたい**と思いました。

○僕も社中で「塩祓」を練習しているので、**大きくなったら「大蛇」を演じてみたい**なと思いました。

※ ※ ※ ※

紹介した子どもたちの感想は、「**そう思った**」という段階で、この後、本当に行動化できたのかどうかは不明です。しかし、**学びに基づく全ての変容**は、まずはそれぞれの**心の中で始まります**。その**心の変容**こそが**行動の変化**につながり、**継続されること**によって本当の**「力」となる第1歩**だと思います。

そして**心の変容**を子どもたちの本当の**「力」に変え、伸ばす**ことが、私たち**学校職員**の大切な仕事であり、**喜び**でもあり、また、**保護者**の方々の**願い**でもあり、**何より子どもたち自身の願い**だと思います。**これからがんばります**。



↑浜田の社中有志の方々が、小学校に来て下さり、神楽の実演を見せて下さったおかげで、子どもたちの**将来の夢**につながる**変容**が見られました。

子どもたちの「がんばり」紹介

各種大会やコンテストに向けて努力することも、日頃の授業と同様に、子どもたちの変容につながります。また、何をがんばるかという点で、その子どもの「自分らしさ」を磨くことにも通じると思います。



○第14回浜田市小学校体操競技大会

※先日保護者向け文書で紹介したとおりです。それぞれ自分の目指す演技に挑戦してがんばりました。また、役員の子もたちも、大会運営をしっかりと支えました。

※また、同じ日に本校体育館で開かれた校内演技発表会でも、練習の成果をしっかりと発表することができました。



←壮行発表会
のときの様子
です。緊張感
を持って演技
することが、
確かな力をつ
けることにつ
ながります。

子ども相談窓口職員について

児童の力を伸ばすために、普段各学級の担任の先生方は、国や県や市の教育方針に則った三階小学校の方針に従って、各学級の子どもの実態に沿い、工夫を凝らして実践に取り組んでおられます。

しかし、残念ながら、時にその工夫が児童を苦しめてしまう結果を招いてしまうことがあります。

実は先日、本校でもそのようなことが起きていたことが分かり、早速改善を図りました。その際の保護者のご要望を改善に生かしたいと考え、担任以外にも相談可能な方を「子ども相談窓口職員」として周知いたします。

もちろん、担任にお話しできるのが一番ですが、お話しにくい場合もおありかと存じます。そんなときは、ぜひ下記の職員にご相談ください。もちろん、他の職員の方が話しやすい場合はその職員で結構ですし、校長でもかまいません。

お話をお聞きして、改善すべきところは改善を図り、子どもたち一人一人が安全・安心の基盤の上で「力をつける」ことができる学校となるように努力したいと思います。

【子ども相談窓口担当職員】

